

「神のものは神に」 マタイによる福音書 22 章 15-22 節

2022.3.13

●アウトライン

1. 皇帝のものは皇帝に
 - ・ 皇帝に税金を納めることの是非
 - ・ 聖書の語る国家的権力の正当性
 - ・ 為政者のために祈り
2. 神のものは神に
 - ・ 神のものとは何か。
 - ・ 国民の義務として納税をするように、神のものを神に返すという義務
 - ・ 当時の指導者たちの誤り
 - ・ 神のものである自分の体や自分の持ち物を神に返す。

●聖書箇所

【ローマの信徒への手紙 13 章 7 節、新約聖書 293 ページ】

「すべての人々に対して自分の義務を果たしなさい。貢を納めるべき人には貢を納め、税を納めるべき人には税を納め、恐るべき人は恐れ、敬うべき人は敬いなさい。」

【テモテへの手紙一 2 章 1-3 節、新約聖書 385 ページ】

「そこで、まず第一に勧めます。願いと祈りと執り成しと感謝とをすべての人々のためにささげなさい。王たちやすべての高官のためにもささげなさい。わたしたちが常に信心と品位を保ち、平穏で落ち着いた生活を送るためです。これは、わたしたちの救い主である神の御前に良いことであり、喜ばれることです。」

【マタイによる福音書 23 章 23 節、新約聖書 45-46 ページ】

「律法学者たちとファリサイ派の人々、あなたたち偽善者は不幸だ。薄荷、いのんど、茴香の十分の一は献げるが、律法の中で最も重要な正義、慈悲、誠実はないがしろにしているからだ。これこそ行うべきことである。もとより、十分の一の献げ物もないがしろにしてはならないが。」

【ローマの信徒への手紙 12 章 1 節、新約聖書 291 ページ】

「こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。」